

しえん
SHIEN
No.47

2024 5/1

支縁



<http://kisokobe.sub.jp/>

神戸国際支縁機構(KISO)季刊誌

【発行人】 岩 村 義 雄 〈携帯 070-5045-7127〉
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com

【石巻支所】 阿 部 とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37

【熊本支部】 大 島 健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27

【千葉支部】 嶋 田 博 信
〒294-0234 千葉県館山市布良303

年4回 2月、5月、8月、11月

購読料 一部320円+送料80円(年ごめ 1,600円)

復興より、生活復旧へ、殺傷兵器輸出より農地回復、「国土強靱化」より「RAF」を

▼2024年4月18日、イスラエル空軍はイラン国イスファハン州※を攻撃

イランは中東の原油輸送の要衝であるホルムズ海峡に面しています。州内のナタンズには核施設があります。同日、イランの革命防衛隊ハグタラブ司令官は「われわれの核施設に対し行動を起こすならばイスラエルの核施設も攻撃を受けるだろう」と述べました。(「タスニム通信」)

イスラエルはイランばかりか、隣国のシリアに対してもミサイル攻撃をしています。4月19日午前2時55分頃、「イスラエル軍がミサイル攻撃を行い、物的な被害がでている」と、シリアの国営通信は発表しました。アメリカをはじめとするG7主要7か国が、イスラエルを支持する限り、戦禍は止みません。



犠牲になるのは、孤児、戦争未亡人、高齢者 Shutterstock



2024年1月14日にガザ地区南部のラファ市でイスラエル軍の空爆があった後、パレスチナ人は破壊された家を視察する。

※イラン中部のイスファハン州は首都テヘランから約350キロの距離にあります。

※「RAF」(ラフ)とは、「Resilience」(レジリエンス しなやかさ)、「Adaptability」(アダプタビリティ 適応性)、「Flexibility」(フレキシビリティ 柔軟性)を。「原発は子々孫々に禍根を残す」(拙論 第4次1.1大震災報告 エラスムス平和研究所 2024年18頁)。

神戸国際支縁機構は、「すべて剣をとる者は剣にて亡ぶるなり」(マタイ傳26・52)を発信し続けます。現地に渡河し、無辜の民に寄り添います。ご協力をお願いします。

一寸先が読めません。一触即発の危機を孕んでいます。国内はと言えば、能登半島は仮設住宅、みなし仮設(既存の空き家・空き室を活用する住まい)が遅々として実現していません。生活復旧が遠のいています。現在日本海側は裏日本と言われていますが、古くは表日本でした。日本海航路の「北前船」は江戸時代の動脈の働きであり、能登半島は経済や文化の交叉点でした。

1・1大震災から奥能登をはじめ輪島の5回に及ぶ吹き出し、傾聴ボランティアを通じてできた関係性があります。新しい家族ができたことです。馴染みになった人たちと日常的に触れ合いながら、決して平坦ではない復旧・復興の道のりを一緒に歩み出しました。こうした日常的な関わりが保証されてはじめて共生していくことができます。そこで暮らす住民自らが「この集落をどう立て直していくか」についてじっくり考えられるのを目撃します。応援できることは限りがあります。しかし、生活復旧、再建、こころの復興に寄り添い、信頼関係を築いていきます。奥能登の住民と共に生きて行く道を踏み分けていきます。



石川県珠洲市寺家の倒壊家屋 2024年4月1日



ヤマザキ

**世界のパン
ヤマザキ**



Otsuka

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151 (代表)

MIYOSHI

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021

東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341



想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

球磨川（熊本豪雨）ボランティア

熊本支部長

大島健二郎

笑われてもいい 鋤や鍬による田起

「石頭」、「時代遅れ」、「非効率」と陰口をたたかれてきた。それでも6月4日のトロトロ層づくり、田植え、秋の稲刈り、天日干し、脱穀はすべて手作業です。園児たちと土に親しみます。

「農」の合間に水害後、新しい家族となった方々と会話するのになにより楽しいのです。

「田・山・湾の復活」ボランティアのだいご味があるからです。村上裕隆代表は運転の疲れもなんのその田起に精を出しました。一切、農業機械を用いない農法です。

無農薬、有機、機械を用いず江戸時代農法で「復幸米」を園児たちと作っています。そんな「農」ですら都会、マンシヨンの屋上など、小さな空き地でもコメづくりを楽しめます。21世紀の日本の農は地産地消によってよみがえってほしいものです。

佐々木美和事務局長、野田健二兄も初夏を思わせる暑さの中、トロトロ層づくり、田植えに備えて、今月も1ヵ月で一面お花畑に変身していた田んぼを耕しました。

「ハラビロトンボ」♂（雄）は成熟にしたがつて、太い体が黒くなります。羽化直後は黄色で完全に成熟すると青っぽい粉を吹きます。その中間の段階が黒色です。絶滅危惧種です。ネオニコチノイド系農薬により、ほとんど見かけません。田起中に発見。



ハラビロトンボ

動きが鈍く、撮影できました。（Canon EOS X10i）2024年4月16日午前11時5分熊本県球磨郡相良村川辺薬師堂近く、岩村義雄（ハラビロトンボだけではなく、水田の減少やコンクリート製のU字溝、河川のコنگリート三面壁、農薬、化学肥料によって、たくさんの昆虫がいなくなりました。ここ相良には埋め立てから免れた湿地があります。そこには世界で一番小さな「ハッチョウトンボ」（体長2センチほど）が生息しています。環境が変わるとすぐにいなくなってしまうので「幻のトンボ」とも呼ばれています。みなさんの庭先にかわいいトンボ、蝶、小鳥がやってくる時代は「農」にかかっています。

泉谷満寿裕珠洲市長（1964年生）も被災者の生活のためによく仕えておられます。寺家の避難集会所の電気、ガス代など神戸国際支縁機構の代表が陳情を申し上げますと、即決で珠洲市が負担すると明確にお答えになりました。住民本位で市政を担っておられます。人口流出を防ぐことを常に意識しておられます。

市長は「4メートル、5メートルの防波堤を整備すれば、景観を損なったり、市民のストレスになる」と懸念を示されました。『北國新聞』（2024年4月18日付）。そのうえで「住民の生命、財産を守らねばならない。地域の皆さんと対話し、最善策を見つけた」と述べられました。『同』（3月26日付）。



市長室にて 2024年3月4日

『眞平家物語』五家荘の先祖（第十一回）

熊本県球磨郡相良村教育長 緒方 俊一郎

五家荘のことに述べてきたが、ここで少し日本国の状況に目をむけてみよう。

前回の第十回に遡ると、第8代の盛秀が亡くなったのは1344年である。その少し前の1333年に平家を滅ぼした鎌倉幕府が滅亡し、1336年には後醍醐天皇が都から追放されて足利尊氏が京の都に入って、いわゆる南北朝時代が始まった。

鎌倉や都ではこの国を一大事件が起こっていたが、我らの先祖が住む五家荘では中央政治の動向とは関係なく隠遁生活を送っており、相変わらず食糧難が続いているために毎日の生活に難儀していたことがわかる。

第九代の盛康が死亡したのは1367年であり、次の第10代盛秋は1390年に亡くなったと記されている。中央政府では1388年には足利尊氏が征夷大将軍となり、足利幕府が開かれ、1392年には南北朝が統一されている。

第11代の盛任については次のように記録されている。盛任 三左衛門ト云フ 強弓ノ達人文治二百十八年五月五日左座實頼ニ依テ始テ阿蘇ト盟ト海塩ヲ乞フ此時明德元年十月二十五日ナリ

同二年八月阿蘇ノ催ヲ受（虫付）戦ヒ同二十五日凱旋家人今夕之ヲ知ラズ盛任矢ヲ放テ之ヲ知ラシメント欲シ上指ノ無矢ヲ抜キ能ク引テ放セハ其矢鳴渡テ椎原ノウヘテ経郭公瀧（けいきよけさたき）ノ傍ニ落チ（二字不明）ヲ込テ立チタリト今云フ矢ノ下是也 明德四年九月三日没ス（改めて述べる） 文治元年は寿永4年にあたり、壇ノ浦の戦いで平氏義経率いる源氏方に敗れた年である。五家荘の戦いに隠れ住んでいる平家の残党は世の移り変わりを知らず、天皇や年号が変わったことも知らなかったの

で、壇ノ浦の戦いで敗戦した寿永4年を基準として年月を数えていたのである。文治元年は西暦1185年であり、文治28年は、西暦1403年で、和暦では応永10年である。1401年に足利義満が日明貿易を開始し、その翌年に義満は日本国王の称号を明から与えられている。

盛任は強弓を引く弓の名手で、武人としても優れており、菅原道真の子孫である左座實頼の仲介により阿蘇市と盟約を結んだ。すなわち阿蘇氏の配下に入ったものであるが、それにより、長年調達に苦しんでいた海塩を阿蘇氏から分けてもらえるようになったのである。塩はこの五家荘の山中では特に貴重なものであり、これまででも手に入れたのでさぞかし嬉しかったに違いない。

明德元年は先に述べたように、西暦1390年である。南北朝時代であった。系図が虫に蚕食されて一部不明であるが、1391年に山名氏による明德の乱が起こっている。阿蘇氏の要請に従って盛任も出陣したのである。阿蘇氏は幕府側について勝利し、盛任は五家荘に凱旋した。このとき、家の近くまで帰ってきた盛任は家族に知らせた。このとき、得意の鎗矢（うなりを伴って飛ぶ矢で合図に使われていた）を放つて合図をしたことが記録されている。この鎗矢により留守家族は盛任が戦果を挙げ帰ってきたことを知ったのである。この矢は矢鳴りの音を響かせて椎原の上を飛んでいき、経郭公瀧（けいきよけさたき）に落下したと記録されている。その矢の落ちた場所を矢ノ下と呼んでいる。この盛任は明德4年（1393年）9月3日に死亡したと記録にある。

阿蘇氏との同盟を結び、五家荘の外へ出たことにより中央政府の世界のことがわかるようになり、文治の年号で数えていた年号を都の年号の呼び方に合わせるようになった。そのことが記録から理解できる。

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書
『聖書 聖書協会共同訳』
—2018年12月発行—
全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



医療法人社団
湯川胃腸病院
消化器内科・泌尿科・皮膚科・眼科・小児科
〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2丁目10番2号
TEL.06-6771-4861 FAX.06-6771-4882

人によし、社会によし、未来によし。
ミヨシ油脂株式会社
〒124-8510 東京都葛飾区堀切4-66-1
http://www.miyoshi-yushi.co.jp

KINSAN
夢に近づく
夢を産み出す...
近畿産業信用組合
総合コールセンター
0120-111-019



『神戸新聞』(2024年2月19日)



『東京新聞』(2024年3月12日付)

4ヵ月経ても変わらない被災地
珠洲市三崎町寺家

ボランティア文化に陰り

2024年1月～4月

村上裕隆

現在日本海側は裏日本と言われるが、古くは表日本でした。日本海航路の江戸時代の「北前船」は動脈の働きであり、能登半島は経済や文化の交叉点でした。4月1日現在、石川県内の市や町が設ける避難所では、7400人以上が避難生活を余儀なくされています。約6680戸で断水が続いています。珠洲市ではほぼ全域で断水しています。断水の長期化や仮設住宅への入居待ちなどで疲労困憊している被災者が多くなっています。

▽珠洲市約4250戸▽輪島市約1780戸▽能登町約580戸▽内灘町約70戸『NHK』(2024年4月2日午後2時時点)。

「じいちゃんとか、ばあちゃんしかいない家では、家財の運び出しとか、がれきの片付けとかできるわけがない」「正直、ボランティアが少ないんじゃないか」。珠洲市の山間部に住む60代の男性被災者がこうつぶやいたと地元紙の『北國新聞』(2024年4月21日付)は報じています。

▼石川県が窓口「一元化」人手が足りていないのに、自主的活動など統制

(『東京新聞』(2024年3月12日付)。能登

半島地震では、一般ボランティアは3月5日現在、県に事前登録した人が約3万600人に上る一方、実際に活動したのは7千人余りで4分の1以下。1日当たりでは4日以降、計330人程度にとどまる。

この現状に、県の防災会議・震災対策部会長を務める神戸大の室崎益輝^{むろさき ますき}名誉教授(防災計画)は「一日300人程度では全く足りない。県が管理するような事態となり、自由に行こうとする人が入りにくくなった」と批判する。

同紙で、大阪大学の渥美公秀教授^{あつみ ともひで}(防災社会学)は「いろんな特技がある人が一緒にあって復興すればよいのに、その可能性を狭めている。」「被災者が第一であり、押しつけでなければよい」。それなのに、SNSをはじめボランティア行きを萎縮させるようなムードが生まれている。渥美氏は阪神大震災から30年近くたち、災害ボランティアも洗練されてきたとし「その裏返しで、秩序が重要視されるようになった」と。

▼神戸国際支援機構は毎回、ボランティア警告

2004年10月23日発生の新潟県中越地震頃から、ボランティア活動に対する「官」は自発的に参加する成員の受け入れを管理するようになり始めました。やがて国などと連携する「全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD(ジェイボアド))」がコーディネート

ト役で請負うようになりました。つまり、「官」は現場がわからないので、現場をやりこなすボランティアのまとめ役を下部組織にしたのです。ボランティア募集で参加された方たちの多くはいつしか現地で登録され、行政の管理の下でしか動けない仕組みができあがりました。行政はインフラ整備と並行して、受け入れ体制整備を机の上で試みます。損害程度に相違があっても一律に対応する無機質な役所仕事に変わりました。大型バスでかけつけ、ゼッケンをつけて、被災地の社会福祉協議会、ボランティア・センター(VC)、災害特別〇〇委員会などの指示通りに動くように制度化されてきました。

今、能登は人間の営みの条件が顧みられていません。日本は明治維新以降、欧米に迫いつくために中央集権型の仕組みに狂奔しました。戦後、憲法で基本的人権、地方自治、平等を擁護するようにしましたが、経済復興は中央主導でした。ですから地方は過疎化し、若者は一極集中のように都会に住みつきます。すると多様な人間に目が届かなくなってしまう。個々の受け入れを阻み、一括管理、申告主義、資格などの無機質を条件にして管理してきました。

1月2日の時点から国、石川県はボタンのかけ違いが始まっています。道路事情が悪いから直接現場に行かないようにかん口令を敷きました。被災者を隔離してしまっただけです。被災者をコロナウィルスのトリガー^{トリガー}のように権力者からの指示通りの全体主義国家にしてしまったのです。

人間関係のプロセスは失われてしまいました。いまだに水道が使えないのは「被災者を第一に、みんなでかけつける」空気をストップしたせい입니다。がれきのため下水管など手つかずです。

※治療の優先順位を仕分ける



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp



Humanity First

「ヒューマンティ・ファスト」
日本アハマディア・ムスリム協会

弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所



津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑3丁目8番12号

事務局便り

理事長 本田寿久

ボランティアが少ないのは、締め付けによります。民の勝手な振る舞いを許さない規制が強いからです。東京新聞の望月衣塑子記者がボランティア縮小について【官房長官会見】で質問（2024/02/19）。記者は「神戸国際支縁機構」や「岩村義雄」代表の発題を論及されました。

「お上（かみ）」の言う通りにすべきという中央集権による戦前への回帰の前兆です。そんな統制は能登半島地震のように高齢化の地域には共助が地形的にもむずかしいことを無視しています。住民のいのちがあまりにも軽んじられていないでしょうか。阪神・淡路大震災の時、ボランティア道について私たちに目覚めさせた草地賢一 [1941-2000] 牧師の言葉について忘れ去られています。あれからほぼ30年、ボランティアの受け入れ、活断層と原発の関係、万博についても首相、官房長官、石川県知事の政治判断が軽すぎます。首相の低支持率は政治家全体の情熱、責任感の希薄さの象徴であることに比例しています。政治不信はメディア不信のコインの裏表でもあります。マスコミの本

来の目的が喪失されています。柏崎刈羽原発再稼働、3月22日の熊本地裁の水俣病判決、女川原発2号機（宮城県女川町、石巻市）も再稼働に対する司法判断についても賛成、反対の意見が平等にとりあげられます。「良心」の心筋梗塞症状です。日本はメルトダウン（炉心溶融）を体験しました。その後、医療関係者が訴える不溶性微粒子（ホット・パーティクル）の内部被ばくが裁判で却下されています。報道は正義、公正、民の安全のために厳格であるべきです。全国新聞は権力監視の責任を果たせていません。日和見的であってはいけないとつくづく思わせられる日々です。草地牧師のキーワードを心に刻みたいものです。「いわれなくてもする、いわれなくてもいい」と。

現在、能登の自宅が全壊するなどして住めなくなった人のための「みなし仮設住宅」*の利用が4月8日時点で2873戸です。

*賃貸のアパートなどを自治体が借り上げる制度。近年の災害では建設型よりも多く利用される傾向となっている。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替

口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863

神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は「国名」を書き添えてください。

(一社) 神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支縁物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座

毎月第3金曜日

午前10時～

神戸学生青年センター

本館1階

岩村義雄セミナー

毎月第4月曜日

午後6時半～

ミント神戸17階

編集後記

能登半島地震ボランティアにハイエースで向かいます。

輪島では新藤豪牧師が避難所から日本基督教団輪島教会に来られて、再会の交わりを楽しみます。散り散りになっていた4人の教会のメンバーも礼拝を楽しみにしておられるとお聞きしました。人柄が良寛[1758-1831]さんのように温かく、むしろ神戸からの私たちの方が励まされました。

珠洲市寺家漁港では佐々木事務局長の恩師である矢守克也先生とばったりとお出会いました。最驚かされたのは私たちに加勢してくださいました。1.1大震災以来はじめての寺家漁港ボランティアに仕えていました。

午後には出村正廣さん(76歳)が珠洲神社内の日本一の「キリコ」を見せてくださいました。

事務局 野田健二



寺家漁港のボランティア
矢守克也京都大学教授 2024年4月1日



キリコ



手つかずの飯田港

救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2024年1月14日～4月20日

佐々木美和、岩村義雄、大谷優美子、宮坂信章&和子、保田 茂、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、胆振キリスト集会、佐々木秀俊、大島健二郎(4)、コウベ写真研究会、沖浦宏隆(千葉県布良)(5)、村上安世(3)、大河戸章代、岩倉正美、高 祐二(2)、伊東政隆&朋子、有田 真一&美榮子(2)、水谷弥生、樋口喜寿江(福岡県松末)、樋口 進、蔵本正文、泉 晴代、塗 光子、忍ヶ丘キリスト教会(3)、杉山精一、本田洋子、愛のサークルリンク、宝塚栄光教会(3)、岩間 洋&千恵子(3)、忠田町子、仲田さらさ、北村敏泰、北村恭男、山形浩之、長澤俊夫、飛田雄一、大槻良文、千葉幸一(宮城県石巻市)(3)、[一社]ライネットいっこ(2)、石井泰代、公益財団法人神戸新聞厚生事業団(2023年炊き出し)、鶴野信子、尾関マユミ、日本基督教団久宝教会(2)、新免 貢、ダニー・ネフセタイ・吉川、佐藤紀子(宮城県多賀城市)、帯広キリスト福音教会、宮坂信章&和子、野田健二(3)、保田 薫、日本基督教団神戸栄光教会、ハート基金、矢野寛子、永野由美子、オリーブの木キリスト教会(2)、池田裕子、小久保玲子、秋田喜代子、東垂水ルーテル教会、山下 寛&弘美、柳澤 豊、安西玲子、山本 勝、大國龍笙(伊去波夜和氣命神社宮司)、櫻井由里子、さかいようこ(2)、千田豊徳(宮城県石巻市光厳寺住職)、横山恵子、鶴崎祥子、瀧澤省一、久保田弘人(熊本県人吉市)、長島康弘、久原満里子、畑谷恵美子、神戸YWCA、土田祐子、槇原晶枝、土屋俊介、竹内喜子、日向そよ、秋田光彦(大連寺/應典院住職)、第4回神戸在住ウクライナ人の集い、佐々木基文(西光院住職)、上村文子、加山久夫、岡野彩子、の野慶子、辻本久夫、木村ふみ子(宮城県石巻市)(2)、神納茂子、西上千栄子(2)、高木 保、祐照寺(古川真照住職)、高橋秀典、今井祝雄(2)、本田大輔、大久保和代、湊 乃莉子、穴戸義光(宮城県石巻市)、高橋宏和、野崎隆一、岡本毅一、中野早苗、早瀬裕子、生活協同組合コープこうべ、小川幸枝、佐々木駿介、土手ゆき子、土手 朋、村田優美子、白 承豪、廣瀬素子(2)、プイ・ティ・オアン(神戸ベトナム人会会長)、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、栗原 健、前川和弥&幸子(2)、明石バプテストキリスト教会、野崎和子、郡山昌平、尾上健一、河内常男、八尾和樹、廣田守男、乾 祐子、小谷哲哲(千葉県布良)、村田義人、荻田尚治、山本陽子、本田清実、木村駿治(宮城県石巻市)、古川直子、永野真治、津久井 進、杉山紀之、庄司慈明(宮城県石巻市)、中山圭子、緒方真喜代(熊本県相良)、星野千鶴子(千葉県布良)、鳥飼浩造(熊本県人吉市)、岩本真子(福岡県松末)、梶原ミドリ(福岡県松末)、星野尚子、崔 勝久、福田雄二(熊本県相良)、嶋田博信&礼子(千葉県布良)、イエス・キリスト聖成伝道教会、山本 稔、横浜ユニオン教会、寺田たつお、ホームチャペルキリストの花嫁、匿名、1,281,192円

フードバンク関西、神戸市社会福祉協議会、生活協同組合コープこうべ、松末地域コミュニティ協議会からコーヒー、なつめ保育園(熊本県相良)、中島洋人からナッツ、とりとんから焼き鳥、丹野恵子(宮城県石巻市)から海苔、菊地敬子(宮城県渡波)から手作り小物入れなど、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)から栄養ドリンク、ハジャール(モロッコ)からタジン置物、ハスナ(モロッコ)からタジン、マフジュバ(モロッコ)からアーモンド、ハッセン(モロッコ)からハチミツ、木村勝&木村ふみ子(宮城県石巻市)、千葉幸一(宮城県石巻市)から資料、阿部和夫(宮城県石巻市)からお菓子、樋口伸生(西光寺住職)からお茶など、栗須哲秀から玩具、横山豊有(無障金剛院)住職からコメなど、新免 貢からストーブ、近畿産業信用組合、生活協同組合コープこうべから水、津野聡織から米、山内満千子(熊本県相良)から飲料水、